

優秀賞

タイトル 「事故を乗り越えて」
9カ月ぶりに我が家へ帰る。

タイプ 持家一戸建

構造 ツーバイフォー

講評

退院後、家に戻りたいと切望してご主人のために、生活のすべての機能を1階にまとめた思いやりが滲みでている作品。段差解消や回遊できる間どりも良いが、しゃれたウッドデッキは、メンタルバリアフリーの究極だ。

リフォーム前後の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／住宅の価値を向上させた内容など

〈動機〉3.11の震災でショックを受け車に乗れなくなり自転車で移動中交通事故。入院、大手術後リハビリ生活を送っていました。奥様は朝9時に家を出て病院へ、夕食を食べさせた後帰宅する毎日。

一日も早く家に帰りたい。と希望するようになりました。

〈設計・施工の工夫点〉3階建ての住居でしたが、すべての機能を1階に集中させる。段差の解消と回遊型の間取りに変更。一番重視したのは、既存のイメージを残すこと。ご自身が使っていた書斎のテーブルをカットして食卓に利用。お気に入りの

性能向上の特性
バリアフリー性能

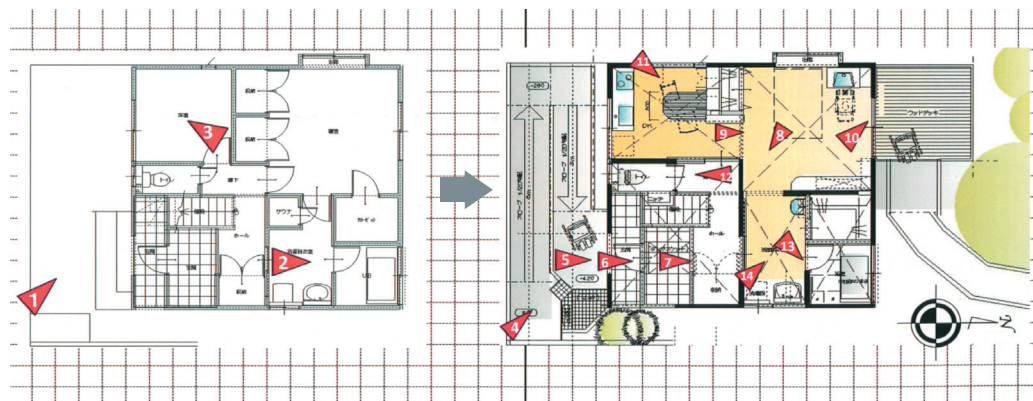
特に配慮した事項
外部スロープの勾配は1/20、始点と折り返し点はフラットに。モルタル金こて仕上げとした。室内建具は有効開口1000の思いやりドア（大建工業）を採用。

照明器具も修理して設置するなど。また、元気な時、楽しみにしていたお庭を眺めるため、新たにウッドデッキを設けました。
〈感想〉退院して自宅に戻ってからはとても機嫌がよくなり、食事が進むようになりました。デッキは友人が別荘に来たよう。と云ってくれます。玄関の「ダンサスケツト」がとてもよかったです。事故から9カ月たってようやく自宅に戻れて本当に幸いです。
〈住宅の価値向上〉間仕切り撤去し南北の風の道を作る。また、全面床暖房で温熱環境の向上。LED照明器具の採用。

所在地	埼玉県さいたま市	築後年数	20年	施工期間	40 日間
該当工事面積	47.61 m ² / 総工事床面積 47.61 m ²	該当部分工事費	850 万円 / 総工事費 850 万円		
居住者構成	15歳以上65歳未満: 人 / 65歳以上: 2 人 / 15歳未満: 人 / ベット:				
設計会社	(有) 一・番家工務店	担当者	加藤 明子		
施工会社	同上	担当者	渡辺 昌宏		

リフォーム前

リフォーム後



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共用部分